



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題 (2015-2016)

- 国際会長(IP) Mr. Wichian BOONMAPAJORN (Thailand)
"Mission with Faith" 「信念あるミッション(使命・目的)」
- アジア会長(AP) Mr. Edward ONG (Singapore)
"Through love Serve" 「愛を持って奉仕しよう」
- 西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)
「あなたならできる! きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!"
副題: -生きる しなやかに さわやかに- Live flexibly and refreshingly-
- 六甲部部長(DG) 進藤啓介(神戸クラブ)
「『YMCAと共に』 「人を育て・地域に仕える」
- 西宮クラブ会長(CP) 浅野 純一
「幸せな気持ちになれるクラブの活動」

★ 2015年7月 西日本区強調ポイント "Kick-off EMC-MC"
「EMCはCME。まずC(Conservation 意識高揚)でクラブの例会を充実させましょう。クラブの特性に合った増員計画と、ドロップを食い止める工夫をしましょう。合同例会で交流と士気を高めましょう。EMC 事業主任小野 勅紘(西宮クラブ)

2015年7月第807号
《69期1号》
Since 5.17.1948

スポンサークラブ
・大阪クラブ
DBC 締結(2007)
・近江八幡クラブ
・広島クラブ

クラブ主役員
会長 浅野 純一
副会長 西山 茂夫
直前会長 山口 吉郎
書記 廣瀬 一雄
書記 山口 吉郎
会計 足立 康幸
会計 岩田 健司
監事 丸山 悦治
担当主事 宗行 孝之介
部Yサユース主査山口吉郎

我らのモットー: 強い義務感を持つとう、義務はすべての権利に伴う
To acknowledge the duty that accompanies every right !

今月の聖句 「わたしの頭に香油を注ぎ、わたしの杯を溢れさせてくださる。命のあるかぎり、
恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家に帰り、生涯そこにとどまるであろう」
詩編23編5節-6節 (選句:小野勅紘)

2015年7月第一例会ご案内

- 日時 7月10日(金) 19時~21時
会場: 西宮YMCA 保育園3階
ドライバー: 山本フイズ、西山フイズ
- キックオフ・計画 -
開会点鐘 山口会長
1. ワイズソング 一同
2. 今月の聖句 小野フイズ
3. ゲスト・ビジター紹介 山口会長
4. 食前感謝 小野フイズ
5. 会食
6. タイワークキャンプ報告 井内リーダー
7. 新旧役員引き継ぎ式
8. 計画、新年度方針 浅野会長
9. 前年度会計報告他 足立会計
10. お誕生日お祝い
11. ワイズ・YMCAニュース
12. 閉会点鐘 浅野会長

【6月例出席状況】
第1例会(6/5 金) 第2例会(6/26 金)
メン 20名(内 MU6名) メン 12名
メネット・コメント 2名 メネット・コメント 0名
ゲスト・ビジター 0名 ゲスト・ビジター 0名
合計 16名 合計 12名
出席率 90.9% (累計出席率 93.5%)
在籍数 22名

【お誕生日】
岩田成子メネット(7/8)、浜崎保津美メネット(7/16)
藤原百合子メン(7/20)

【ファンド・BF累計】6月
ニコニコファンド ¥3310 累計 ¥43017
Brotherhood Fund (目標 345\$) 累計 ¥27600
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) 累計 ¥28400
BF使用済み切手 (前期 874 ㊦) 今期 18 ㊦

ゲストリーダー紹介

井内 伸(2015年3月関西国際大学卒業リーダーOB。YMCAキャンパーあがり。大学卒業後福祉系専門学校で学び中)特技はキャンプソングのギター伴奏。弱点は本キャンプで頑張りすぎてよくダウンすること。

【会長メッセージ】

会長 浅野 純一

今年度の会長を引き受けることになりました。2度目の会長です。前は2009-10年度で6年ぶりの会長です。どこかで、あと一度は会長をしなければいけないかと思っていましたが、以外にも早くその時が来たように思います。少しのことしかできませんが宜しくお願いします。

会長の主題に、「幸せな気持ちになれるクラブの活動」を掲げました。教職の仕事で退職して7年目になりました。現役時代は人と接すること、対話することが最大の仕事で、プライベートでは一人の時間をもつことが最大の楽しみでした。ところが、現在の一日は、一部のワイズの方にも読んでいただいているのですが、歴史のレポートを作成することに多くの時間を費やしており、ワープロと本との葛藤の連続で人と接することが少なくなりました。そのような中でワイズメンズクラブの皆様との活動は、私の心を随分と癒していただいています。さて、会員皆さんにとってワイズメンズクラブはどのような存在なのでしょう、少しでもメンバーの方々が幸せな気持ちになってもらえるような活動のほんの一助になればと思って主題としました。

次に活動の方針に、(1)充実した例会の実施、(2)YMCAと共に、(3)東日本大震災被災地支援の継続(五か年継続の最後の年)、(4)新メンバーの獲得、(5)地域社会への貢献を掲げました。また、活動計画では(1)今後の東日本大震災被災地支援を考える、(2)DBC3クラブの一層の交流をはかる、(3)ホームページの充実などによって広報活動に力を入れることを掲げました。以上のことはすでに提示させて頂いていますが、具体的な活動内容についてはキックオフ例会で協議頂いて、新年度をスタートさせたいと思います。

【第一例会報告】

ドライバー: 山口政紀メン、山本常雄メン

6月の第1例会は、6月13-14日開催の西日本区大会との日程調整の関係で第1金曜日に変更し実施されました。6月は「評価と計画の月」ということで今期の活動報告の発表と承認、次期活動方針の

紹介と役割分担の確認が行われました。

タイワークキャンプの報告に参加されたユースリーダーの井内リーダーに何う予定でしたが、介護実習と重なったために例会出席叶わず、宗行館長より1年空いて再開されたプログラムが無事展開された旨説明がありました。

山口会長の活動報告はパワーポイントで、得意の写真を散りばめ1年間を見事に纏められていて、会長主題「もっと楽しく、そしてワイズダムらしく!」を楽しく振り返ることができました。

- ・例会の充実と工夫による高出席率の維持
(興味深い講演会や音楽例会開催出席率 94.2%)
- ・YMCA 支援及び協働
(ファミリープログラム、カーニバル共催/各建設他支援金)
- ・東日本大震災被災地支援の継続
(現地訪問、講演会開催、全国ワイズへ支援呼掛け)
- ・地域環境活動に継続
(宮古物品販売/稀少難病支援[メット事業] 協働)
- ・新メンバーの増強
(新会員の獲得はならなかったが候補者勧誘中)

また多くの交流事業がなされたこと等が報告され全員の拍手で活動報告が承認されました。

続いて足立会計より14-15年度通常会計並びに特別会計の仮決算報告があり、大筋で承認されました。確定値は7月1日以降に岩田監事による監査を受け、7月第1例会で報告されます。

次に浅野次期会長より以前から示されている2015-16年度活動方針・計画(案)に基づく、年間行事予定と役割分担の確認が行なわれ、活動方針・計画案は了承されました。それに伴う次年度予算案について足立次年度会計より15-16年度通常会計並びに特別会計の説明があり承認されました。但し、特別会計における各種支援金・補助金の増大に伴い、次期繰越金を大きく減らしている状況についての懸念が足立会計から示され来期の役員会等で検討することとしました。

最後に堤直前会長より、この2ヶ年間、会長及び六甲部地域奉仕環境主査として大いに尽力してきましたが、職場環境の変化もあり、燃え尽き症候群というか、少し休みたいとの意向説明が有り、山口会長より「また元気になって戻って来て下さい」との鼻向けの言葉とともに感謝の拍手で労をねぎらいました。出席者は、浅野、足立、岡田、小野、堤、濱、濱崎、廣瀬、藤原、万本、宗行、三島、山口(政)、山口(吉)、山本、山口(洋)メット、宮地特別メットの

17名でした。

石井次期 Y サ・ユース委員(長)はチャリテーランの第1回運営委員会会合に山口吉郎次期六甲部 Y サユース事業主査の代理で出席されましたのでメーキャップされます。

【ワイズニュース】

浅野会長

7月10日(金) 第一例会(19時 西宮保育園)
11日(土) 鱧の会 (18時 好富)
24日(金) 第二例会 (19時 西宮保育園)
25日(土) 六甲部第1回評議会及び合同納涼例会(14時三宮グリーンヒルホテル)
31日(金)~8月2日(日) アジア大会(京都ウエスティンホテル)

8月22日(土) 合同野外例会(神戸・芦屋クラブと)



【YMCA ニュース】

宗行 孝之介ワイズ

すっかり梅雨ですね。みなさまお元気でしょうか？YMCAは今年4月より井上新総主事の元、新しい年度がはや3ヶ月過ぎようとしています。連休も過ぎ、いよいよ初夏で台風もやってきました。みなさま被害等にあわれませんでしたか？

さて、今年度も新しいリーダー諸君が与えられました。5月17日にワイズのご支援を頂いてリーダー委嘱式を行い、夏に向けて着々とトレーニングを積み重ねています。夏のプログラムも受付を開始しております。おかげさまで募集状況はますますといったところで、夏に向けて期待が高まります。ただ、7月中はやはり大学生の授業期間の関係でキャンプ実施が極めて厳しい状態です。行きたい子どもが行けないという状況は何とかしたいのですが、余島では若いスタッフ自身がカウンセラーに入ったりして凌いでいますが。そうは言いながら、イギリスの詩人ワーズワース曰く、「子どもは夏に育つ！」付け加えれば「リーダーも夏に育つ」のです。一層のご指導、お支えをお願いいたします。

【リーダー会便り】

宮脇 知紘リーダー

キッズは、今年度に入り初めての山登りをしました。布引ハーブ園に向けてお友達同士で励まし力を振り絞って登りました。大きな布引の滝や展望台

からの眺めなど、歩くにつれて変わる景色に目を輝かせていました。ハーブ園では、芝生の広場でのびのびと体を動かし、グループの隔たりなく関わる姿が見られました。

6月のジュニア例会は、新神戸駅から市が原を目指してハイキングにいきました。今年度初めてのハイキングで、「水」をテーマに、布引の滝や貯水池など、水を身近に感じながら登りました。「自然」を通してメンバー同士の関わりや、助ける、声かけといった姿を多く見ることができた例会となりました。

シニアの6月例会では、生瀬~武田尾間で廃線ハイクをしました。枕木の上を歩いたり、懐中電灯を照らしてトンネルをくぐったり、川で思いっきり遊んだり、今回の例会でも子ども達の生き生きとした顔が見られました。

【西日本区だよりー11】

次期西日本区EMC事業主任

小野 勅紘(西宮クラブ)



第18回西日本区大会

いよいよ「次期」という肩書が外れて、本番の舞台が迫ってきました。皆様の温かいご支援をお願いするばかりです。「冷ややかな目線」ではなく、マザーテレサも言われたように、私にも何卒「暖かい微笑」を与えて下さい。それだけで充分です、と言いたくなるような先日のドタバタ劇。(「平和は家庭の微笑から。」)

前哨戦というか、見習実習というか「第18回西日本区大会」が大阪南港の会場「ホテルハイアットリージェンシー」で開催されました。大阪に住んでいるとはいえ、こう言った地域は私には初めてで未開の土地。仕事で遅れて京都からようやく南港に掛けつけたものの、前夜祭の会場探しにそれこそ「難航」してしまいました。ホテルマンの案内で玄関から右の建物と言われて何回もホテルを周回している内に時間は1時間以上経過。ようやく会場に到着したのは、何とホテルの逆の左側。ことごとくの不案内に参ってしまいました。スーツで行ったものの会場はすっかりハワイアンムード。アロハシャツにレイを掛けてウクレレバンドで踊りまわる中、正野書記と私が場違いな雰囲気、オロオロ。次期からの活動の前途を悲観しながらのスタートと相成候。準備不足を痛感。

翌日は9時からの準備役員会、代議員会、メネットアワーと続いて、西日本区大会のスタート。(来年のメネットアワーには河合主任とサプライズを計画) 大会はいつもの「威風堂々」での行進ではなく静かな入場に少し物足りなさも。桂吉弥さんの講演

というか高座はやはりプロの味を堪能。「人間国宝の桂米朝は私が育てたようなもの」と、この精神でいきたいものです。懇親会も久しぶりの全員が揃ったの大きな会場。DBCの広島・近江八幡の懐かしい顔を拝見出来ました。

2日目の表彰では我が西宮クラブは予想はしていたものの、久しぶりの「地域奉仕・環境事業最優秀賞」の受賞。尽力頂いた皆様お疲れ様でした。またありがとうございました。宮古ショップも過去最高の売上げ。役員引継ぎ式に臨んで、理事の時のように、バッジの装着が直前→現、現→次期と2段階で行なわれるものと思って待っていたら、他の方は同時に行っていたようで、慌てて装着してこれもアタフタ。廣瀬ワイズからは「小野さん、受け狙ったでしょう」と冷やかされて、今回は何事も不慣れなものでアタフタが多い。そんなオロオロ・アタフタ西日本区大会も終わり、地下に会場を移し、「広島・西宮・近江八幡3クラブDBC懇親会」。昨年岩国の時と少し似ていて会場が広いので話が通らず、挨拶に苦労しました。2時間の集いもあつと言う間にお開きを迎え、階段下で全員で記念撮影して解散した。50名。ところが、その直後噴水の水溜りに近江八幡クラブの堀江宏ワイズが転落して負傷という事故が発生。翌日堀江芙美ワイズにお見舞をしますと、軽傷とのことで安堵しました。お大事にされて下さい。噴水のヘリ部分が斜めのスロープになっており、滑って転落しそうな設計。手摺や柵が必要ではないかと思われます。

来年本番の「第19回西日本区大会」での様子を頭に描きながら会場を後にしました。



【3クラブ交換ブリテン】



佐々木泰平

広島ワイズメンズクラブに御縁を頂いて

私のワイズメンズクラブとの出会いは社命によるものでした。地元で活動する企業として、地域貢献・社会奉仕活動で高く評価されているYMCAの活動に多少でも貢献できればという事でしたが、個人的にはYMCA??ワイズメンズクラブ??という状況で、子細な活動内容などにはあまり触れないままに、2012年6月21日、緊張しながら初めて例会に参加させていただきました。例会開始時に起立してワイズソングを斉唱、聖書の朗読、祈祷という礼拝形式の流れに衝撃を受けたことがはっきりと思い出されます。よくよく考えてみますと、YMCAですからその活動の理念はキリスト教に準ずることで当たり前です。ですが、戸惑いを隠せない私を会員の皆様は「初めは皆びっくりするのです。ほとんどが仏教徒ですからね。ははは。」と、暖かい笑顔で快く迎え入れて下さいました。その後何度か例会などに参加する中で皆様の懐深く飾らないお人柄が広島クラブの明るい雰囲気を作っていることもわかってきました。入会して3年の月日が経ちますが、活動にもなかなか参加できない事を心苦しく思いながら、それでも参加する久しぶりの例会には変わらず接して下さる会員の皆様にとっても勇気づけられています。普段属して接する組織は会社組織が多いのですが、ワイズメンズクラブには違う感覚を感じています。とても元気で活性化した集まりだなと思うのですが、考えてみるに、組織の成り立ちが会社組織とは違い、「奉仕の心」を基に集まると活動が能動的に積極的になり、活動そのものが自らの喜びにつながるのかなと思います。皆様のこうした志を身近に感じさせていただくことで、私自身の仕事における目標の掲げ方、人との関わり方に新たな視点を持つ機会を与えて頂きました。私自身「奉仕の心」を会得し実践するのはとても難しいですが、クラブ活動を重ねていく中で皆様に近づいていければと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。